

オリヴィエ・ポンセ教授 アーカイブズ学講演会

この講演会は、日本がモデルの一つとしてきたフランスにおけるアーキビスト養成や国の機関等へのアーキビスト派遣制度等について、多方面からより深い理解を構築することを目指します。このため講演内容を日本語に全訳して配布するとともに、フランス語でプレゼンテーションを行っていただいたのち、フロアを交えて1時間30分にわたり十分な質疑応答を行います。

第1部：ご講演（45分） オリヴィエ・ポンセ教授（フランス国立文書学校）

演題「フランスにおけるアーキビスト養成（過去、現在、未来）

：学問的、社会的および政治的課題」

第2部：質疑応答（90分）

※ フロアを交え、質疑応答を行う。

<翻訳・通訳> 岡崎 敦 教授（九州大学大学院人文科学研究院）

日時 2019年12月7日（土）午後3時～5時30分

会場 学習院大学 中央棟 301（JR山手線目白駅下車3分）

申込不要（誰でも参加可能）

主催 学習院大学大学院 人文科学研究科 アーカイブズ学専攻

共催 学習院大学文学会

協力 科学研究費 挑戦的研究（萌芽）18K18528「国際化、情報化環境における歴史資料の
公共的利活用と管理に関する基礎的研究」（代表者 岡崎敦）

後援 内閣府、独立行政法人国立公文書館、日本アーカイブズ学会

なお、上記の講演会の終了後に、ささやかな懇親会をおこないます（北2号館10階 中会議室）。

<問い合わせ先> 03 5992 1156 hirooki.hosaka@gakushuin.ac.jp 保坂裕興（学習院大学）